

第4回 多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会 要点記録

- 1 日時：平成31年1月25日（金）午後3時から午後4時35分
- 2 場所：多摩市役所3階 特別会議室
- 3 出席委員： 浜田委員長、保坂副委員長、長倉委員、三輪委員、川村委員
- 4 欠席委員： 松井委員
- 5 議題：市制施行50周年記念誌の構成について

1 開会

委員長 第4回目の多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会を開催する。

2 議題

委員長 本日の配布資料について、事務局より確認及び資料の説明をお願いしたい。

事務局より、配布資料の確認及び資料1に基づき説明を行った。

それでは、その他の資料の内容について、多摩市文化振興財団より説明をお願いしたい。

財 団 資料2及び資料3に基づき、財団より説明を行った。

資料2については、前回からの変更点として、項目の候補となるテーマに記載されていた内容を整理し、それぞれのテーマに記載することが考えられるテーマに分けて記載したことや前回のご意見を踏まえ項目の加除修正を行っている。また、資料3については、他市の事例等を参考に執筆要領案を作成したものである。

委員長 まず始めに、作成スケジュールについて、ご質問やご意見等はあるか。

委 員 執筆のスケジュールにおいて、「現在～未来」が他の項目のスケジュールとは別に示されているが、この項目については、平成32年度より執筆を行うのか。

事務局 執筆の依頼は他の項目と同様に平成31年度当初より行っていくが、オリンピック・パラリンピック等執筆する内容によっては、平成32年度になってからでないと執筆することができないものがあること想定されるため、別で示した。どの項目が該当となるかは、構成がまとまり次第整理していきたい。

委員長 入稿後の校正のタイミングについて、印刷入稿後も校正が入ると想定していると考えて良いか。

財 団 初校の冊子については、執筆者にも確認いただくことで想定している。

委 員 執筆候補者はすでに執筆の依頼を受けていただけるよう調整が済んでいる状況か。

財 団 執筆候補者への依頼は、構成案がまとまり次第依頼を進めていく予定である。現時点での候補者に執筆を断られてしまった場合については、別の候補者を想定している。

委 員 執筆者が執筆途中で執筆できなくなってしまった場合の対応も検討しておいた方が良いと思う。

委員長 その場合は、最終的には我々委員にて対応することも考えられる。

それでは次に、目次及び執筆候補者について、確認したい。

項目のテーマを中心に確認したいが、ご質問やご意見等はあるか。

委員 「IV. 多摩市の歴史（多摩ニュータウン開発から）・《1》多摩ニュータウン開発～市制施行前（多摩町時代）・②初期入居とくらしの変化」に記載のある“集団中斷移転”とは、どのような意味であるか。

財団 開発を速やかに進めるために、区画整理地区のコミュニティを維持しながら、仮設の住宅へ集落ごと一斉に移転し、開発を進める手法のことを指している。

委員 初見では意味が正確に伝わらない可能性があるので、説明書き等があった方がよいのではないかと思う。

また、新たに多摩ニュータウンに入居してきた人たちが苦勞し、工夫してきた新しい取り組みやそれまで住んでいた人々も含めた住民の自主的なムーブメントなどがあったのだと思うが、そういった「住民の運動」はどの項目に記載されるだろうか。

財団 「IV. 多摩市の歴史（多摩ニュータウン開発から）・《1》多摩ニュータウン開発～市制施行前（多摩町時代）・②初期入居とくらしの変化」の中の「初期入居」や「新しいくらし」の中で住民の運動などについて記載していく想定である。

委員長 同じ項目に記載のある「新しいくらし」の4つの項目について、それぞれの項目のレベル感があっていないので、例えば生活のハード面の「住まいとしての団地」、生活のソフト面の「新住民の活動とくらし」、「サラリーマンのくらし」、「子どものくらし」といったように分けてもいいかもしれない。また、台所の変化と洋風生活は生活の変化の視点でまとめられると思う。

項目を整理していく中で場合によっては、この項の中で、住民の運動などの項目を入れても良いかもしれない。

副委員長 ニュータウンに入居することで、ちゃぶ台だった生活からテーブルの生活に変わり、サラリーマンは都心への通勤が新たに必要になり、子どもも新たな学校に通うといったようにそれぞれに変化があって、記念誌の中では残っている写真からその変化がわかるようにできれば良いと思う。

委員 それぞれのタイトルごとのページに執筆候補者の記載がないが、誰が執筆することとなる予定か。

財団 現時点では、執筆候補者を選定していないので、これから候補者を選定する予定である。その章のメインの内容を記載する方に代表して執筆してもらっても良いと思う。

委員 「初期入居とくらしの変化」とあるが、多摩市へ入居してきた方にとっては入居してくること自体がくらしの変化となると思うが、この項目名で良いか。

財団 くらしの変化については、それまでの都心の狭い住居から当時としては画期的であった近代的な住居へ転入することによるくらしの変化があったことと、初期入居当時のまだインフラが整備途中であった頃の住民が、住民同士でまちをつくりあげていくという意味でのくらしの変化があったので、この項目名となっている。

委員長 例えば変化のみでなく人々のくらしを表現するのであれば、「初期入居の人々のくらし」という項目名でも良いかもしれない。

- 委員 当時としては、多摩ニュータウンのように上下水道や電気、ガスなどのインフラが整っており、近代的な住居があるというくらしが、画期的であったということがわかるような記載ができれば良いと思う。
- 副委員長 記念誌編集基本方針において、市制施行以降の多摩ニュータウン変遷を中心に記載していくこと、200ページ程度としている中で、全部を網羅的に掲載していくことは難しいので、写真などによりビジュアルで変遷や当時の様子がわかりやすいものにできれば良いのではないかと。
- 委員 「永山駅とグリナード永山」の記載はあるが、多摩センター駅の記載はないため、同じように記載があっても良いのではないかと。
- 財団 項目名としては出していないが、「都市機能の充実」の中で多摩センター駅や聖蹟桜ヶ丘駅の大型商業施設等について記載することを検討している。
- 委員長 実際に執筆者へ依頼する際には、記載して欲しい内容を、項目別に別途執筆依頼文書等で依頼していけば良いのではないかと。
- それでは本日いただいた意見を基に修正したもので、目次及び執筆候補者案を決定としたい。
- 次に、執筆要領について、ご質問やご意見等はあるか。
- 委員 電子データでの提出となっているが、ファイル形式等それ以外に定めはあるか。
- 財団 それ以外は特に定めはない。
- 委員 写真については、大きさの指定はあるか。
- 財団 写真の大きさはページレイアウトと関連するため、提出時の指定は特にない。
- 委員長 執筆者で強調したい写真や参考写真等、写真の使い方のイメージがあると思うので、大（1ページに2枚程度）・中（1ページに3枚程度）・小（1ページに4枚程度）などの区分で提出いただいても良いかもしれない。
- また、図・表および写真については、キャプション解説を50字以内として、資料3において例で分量を示しているが、この文字数で十分な説明ができるだろうか。例えば、写真のタイトル・年代・所蔵者の他に写真の説明を30字程度としても良いかもしれない。
- 副委員長 記念誌編集基本方針において、文章表記を「です・ます調」と定めているが、写真のキャプション説明については、「である調」で書くようにしても良いかもしれない。
- 委員長 まだ先に検討する形で良いと思うが、原稿を提出いただく際のフォーマットを定めておく必要があると思う。
- それでは、執筆要領については、今回のご意見を踏まえ修正したものについて、次回の委員会において確認することとしたい。

3 その他

- 事務局 次回、第5回多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会については、3月に開催したい。日程については、後日連絡する。

4 閉会